

採用担当者からのメッセージ



関税局 管理課

平田 哲也

HIRATA Tetsuya

関税局 管理課
専門調査官
【平成10年度入省 法律】

伊藤 由衣

ITO Yui

関税局 管理課
調査官
【平成31年度入省 経済】

財務省税関の魅力

平田:伊藤さんはもうすぐ入省6年目ですが、これまで働いてきて感じる財務省税関の魅力は何だと思えますか？

伊藤:時が過ぎるのは早いですが、これまでに感じた魅力は色々ありますが、1つ挙げるとすれば「業務の幅広さ」でしょうか。入省してから、税関での現場業務や関税局での国際業務まで様々な経験をさせていただき、飽きたと感じたことがありません。これからのような仕事ができるのが楽しみです！

平田:財務省税関は海外との扉、ボーダー官庁として国際、国内含めて様々なプレイヤーと関係があり、政策面、執行面など本当に多種多様な業務内容がありますね。一方で関税・税関という確かな軸を持ちながらキャリアを積んで行ける面もあります。本誌に掲載されている諸先輩方の仕事内容の紹介は伊藤さんにとっても興味深いものだと思います。

採用したい人物像

伊藤:採用担当者として、どういう方を採用したいと思えますか？また、どのような方が財務省税関総合職として活躍できると思えますか？

平田:官庁訪問に来て頂く方は皆様、国家公務員総合職試験に合格した頭脳明晰で大変優秀な方だと思います。その意味で能力というよりは、この財務省税関の仲間や職場風土に合うかどうか、ミスマッチがないかという点が大事だと思っています。また、官庁訪問時に財務省税関に対する強い思い入れは必要なく、協動的でバランス感覚に優れた方が税

関総合職として活躍できると思えます。私自身も官庁訪問時は財務省税関のことをほとんど知らずに入省し、今に至っていますが、本当に魅力溢れる面白い仕事をよい仲間とやって来られていると実感しています。

伊藤:私自身、財務省税関を選んだ最後の決め手は、職場や働く職員の雰囲気良さそうだと感じたからです。関心があれば是非説明会などにも参加いただければと思います！

オフタイム

平田:採用活動で全国に出張の機会があると思いますが、オフタイムはどのように過ごしていますか？

伊藤:出張では空き時間があれば、ご当地グルメを堪能して過ごしています。特にラーメンが大好きなので、福岡出張の際は食べ過ぎてしまいました(笑)。オフタイムを楽しむことで息抜きができ、より仕事を頑張ろうと思える気がします。

平田:内定者の見学会で関西に出張したときのタコ焼き&シャンパンも満喫しましたね！昨年末の職場の同僚とのワイン会も楽しかったですね。



学生へのメッセージ

平田:是非一度、説明会や官庁訪問にお越し頂いて、財務省税関総合職の魅力、働き甲斐、人についてもっと知ってもらえたらと思います。

伊藤:無数の選択肢に悩むことも多いと思いますが、人からアドバイスをもらうことも大切ですが、まずは自分に正直に考えてみてください。皆様がいつか振り返ったときに「この仕事を選んでよかったな」と思えるような進路先を見つけられるよう応援しています。そして、もしこのパンフレットを通して財務省税関に関心を持ち、将来の選択肢の1つとして考えてくださったらとても嬉しいです！



人事採用関連情報

採用状況と任用

過去6年間の総合職年度別採用人数

※()内は女性の数

年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人数	7(3)	7(3)	8(3)	6(3)	7(3)	6(3)
院卒	行政:1	行政:1 化学・生物・薬学:1	行政:1	行政:2		農業科学・水産:1
大卒	法律:4 経済:1 教養:1	政治・国際:1 法律:3 化学・生物・薬学:1	政治・国際:1 法律:4 経済:2	政治・国際:2 法律:2	政治・国際:2 法律:2 経済:2 化学・生物・薬学:1	政治・国際:2 法律:2 経済:1



総数 **168**人

※令和6年3月1日現在

試験区分別在職状況

事務系

120人

技術系

48人

採用等に関するQ&A

Q1 試験区分によって携わる業務内容や採用後の任用に違いはありますか？

A 税関では、採用時の試験区分に関わらず、税関業務全般に携わっていただくことになります。技術系だからといって、特に業務が限定されることはありませんし、配属先によっては、学生時代に身に付けた専門知識を存分に発揮できる機会もあります。また採用後の任用についても違いはなく、本人の希望や能力次第で様々な業務を経験することができます。

Q2 税関業務についてより詳しく知るためにはどうしたらいいですか？

A 人事院主催の説明会等に参加していただければより詳しく税関の業務について理解していただくことができます。その他、税関ホームページにも水際取締りや輸出入手続き、貿易統計といった業務に関わる情報を掲載していますので、ご覧下さい。また、税関ではX(旧Twitter)やFacebookを活用し、全国における覚醒剤やコピー商品などの水際取締りの取組みをはじめとする税関の活動について紹介しています。
税関ホームページ→<https://www.customs.go.jp>
税関X(旧Twitter)→https://twitter.com/custom_kun
税関Facebook→<https://www.facebook.com/Japan.Customs>

Q3 英語力はどの程度必要ですか？

A 英語力は高い方が望ましいですが、採用時に必ずしも英語力が高くなくても、採用後の研修や自主的な勉強により、英語力を高め、国際的な分野で活躍している諸先輩も多くいます。

Q4 業務説明会などの情報はどのように知ることができますか？

A 税関では、例年、公務研究セミナーや霞が関OPENゼミ等、数多くの説明会などを実施しています。説明会等については、大学等でも情報提供されていますが、税関のHPでも、随時情報を更新し、説明会などの情報提供を行っています。税関に関心のある方は、税関ホームページの採用案内ページをご確認下さい。
<https://www.customs.go.jp/saiyou/saiyou.htm>



Q5 研修について教えてください。

A 採用時の研修にはじまり、語学研修、国内外の大学院への派遣研修、経済学に関する研修などの機会が多くあります。なお、これらの研修には、文系、理系を問わず派遣しており、理系の者が大学院で経済学を学ぶなど、自身を高める機会が豊富です。

Q6 国際的な業務を行うことは必須ですか？

A 財務省税関(総合職)では、多くの国際的業務を行う機会がありますが、同時に国内の業務も多く、関税局における法令業務、監視取締分野の企画立案や法執行業務、貿易円滑化に関する企画立案や執行業務、税関のITシステムに係る業務など様々な分野で活躍する機会があります。